

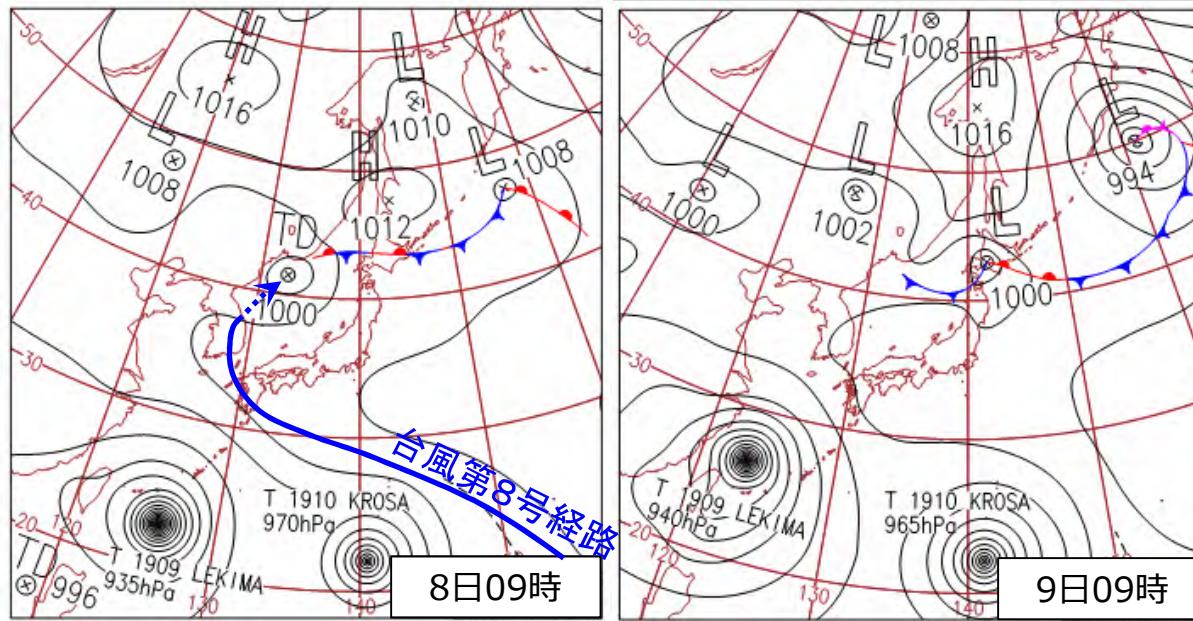
- 情報提供

天塩川上流減災対策幹事会

# 令和元年8月8日から9日 にかけての大雨について

令和2年2月  
旭川地方気象台

# ●概況



L : 低気圧  
H : 高気圧  
TD : 热帯低気圧  
T : 台風

## ■天気概況

台風第8号から変わった熱帯低気圧が日本海中部を経て、8月8日夜には北海道の西海上に進んだ。その後、温帯低気圧に変わり9日にかけて北海道付近を通過した。

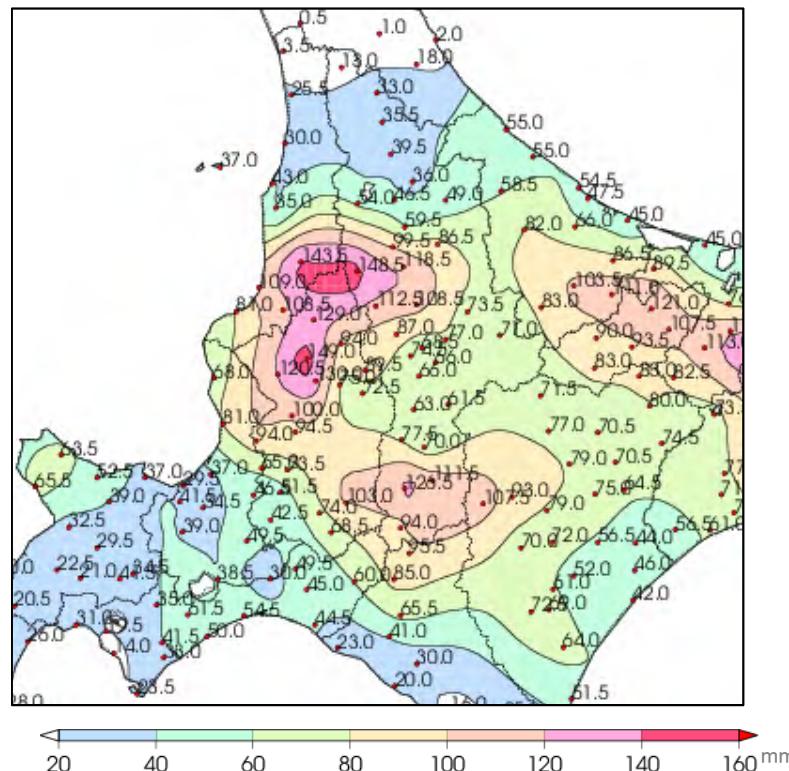
このため、上川・留萌地方では、8日夜から9日昼前にかけて雨が降った。降り始めの8日06時から9日15時までの降水量は、留萌南部や上川北部を中心に多くなり、幌加内で148.5ミリ、達布で143.5ミリ、和寒で118.5ミリとなった。特に和寒では9日9時までに12時間降水量114.5ミリを観測し、8月としての歴代1位となった。

## ■社会的な影響

和寒町、旭川市、愛別町、幌加内町など河川氾濫や田畠・道路冠水する被害が生じた。和寒町、旭川市江丹別町では、避難勧告及び避難準備・高齢者等避難開始が発令された地域があった。

# ●雨の実況

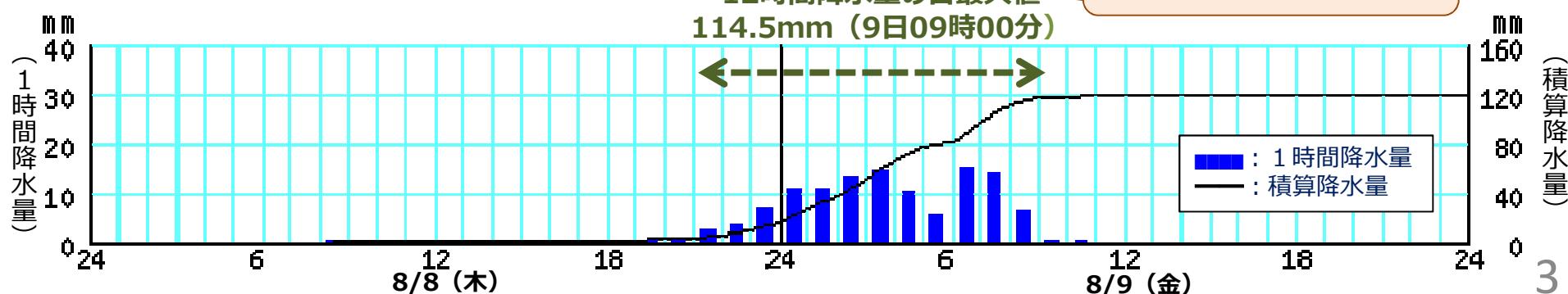
## ■総降水量分布図 (8月8日06時から9日15時)



## ■総降水量の多い方からの順位表

順位	地点名	市町村等をまとめた地域	降水量合計 (mm)
1	幌加内	上川北部	148.5
2	達布	留萌南部	143.5
3	金山	上川南部	126.5
4	和寒	上川北部	118.5
5	江丹別	上川中部	112.5
6	幾寅	上川南部	111.5
7	留萌	留萌南部	109.0
8	比布	上川中部	108.5
9	幌糠	留萌南部	108.5
10	剣淵	上川北部	99.5

## ■降水量グラフ (和寒地域気象観測所)



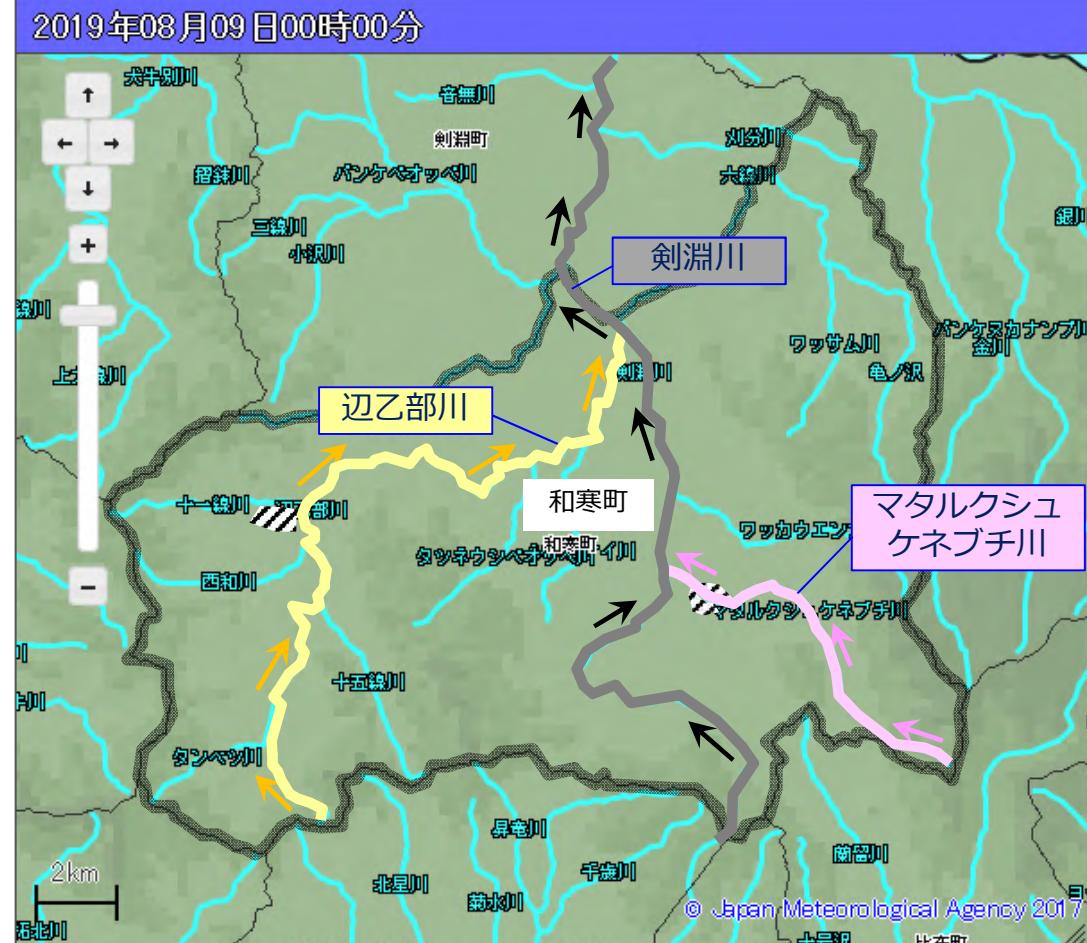
# ●本事例における洪水警報の危険度分布

「洪水警報の危険度分布」は洪水警報を補足する情報で、指定河川洪水予報の発表対象ではない中小河川（水位周知河川及びその他河川）の洪水害発生の危険度の高まりの予測を示している。洪水警報や注意報が発表されたときに、どこで危険度が高まるかを面的に確認することができ、3時間先までの流域雨量指数の予測値を用いて、危険度を5段階に判定し色分け表示している。

本事例での河川被害に着目すると、8月9日7時頃にマタルクシュケネブチ川で溢水し農地冠水2.4ha、8時頃に辺乙部川で内水により農地冠水2.0haだった。剣淵川では氾濫危険水位を超過し、いくつかの支川では内水氾濫が起きているが、住家浸水には至っていない。これら注意報対象災害※が起きたとき、洪水警報の危険度分布はどのような表示だったのか紹介する。

2019年08月09日00時00分

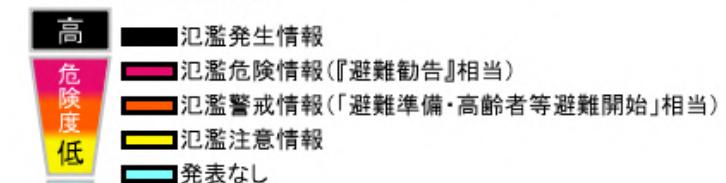
※上川・留萌地方では、多くの市町村で、床上浸水2棟以上または床下浸水10棟以上を警報対象災害としています。



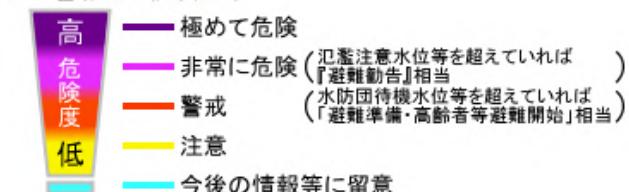
- ← 剑淵川 流路と流下方向
- ← 辺乙部川 流路と流下方向
- ← マタルクシュケネブチ川 流路と流下方向
- ▨ 浸水域

## 指定河川洪水予報

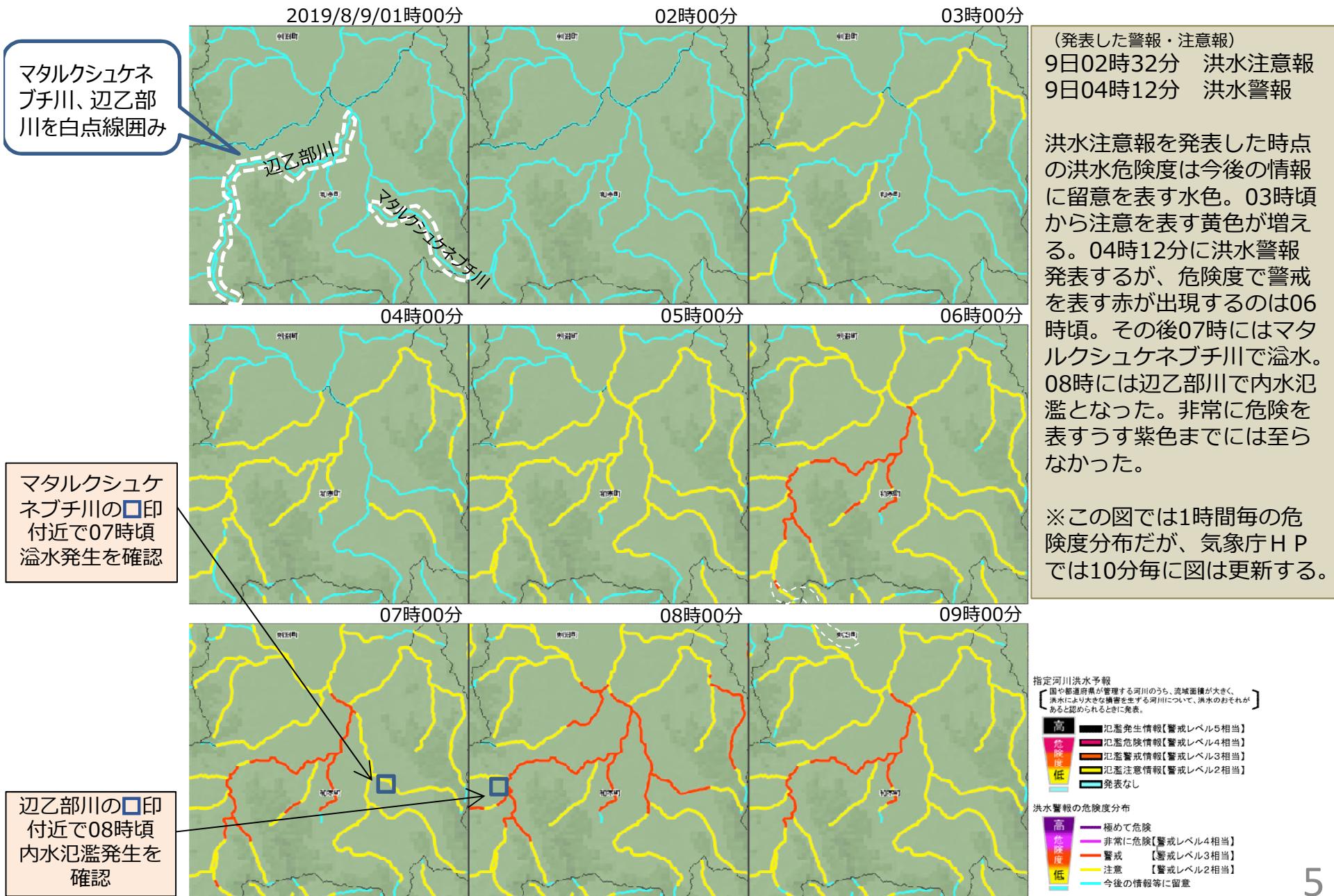
国や都道府県が管理する河川のうち、流域面積が大きく、洪水により大きな損害を生ずる河川について、洪水のおそれがあると認められるときに発表。



## 洪水警報の危険度分布

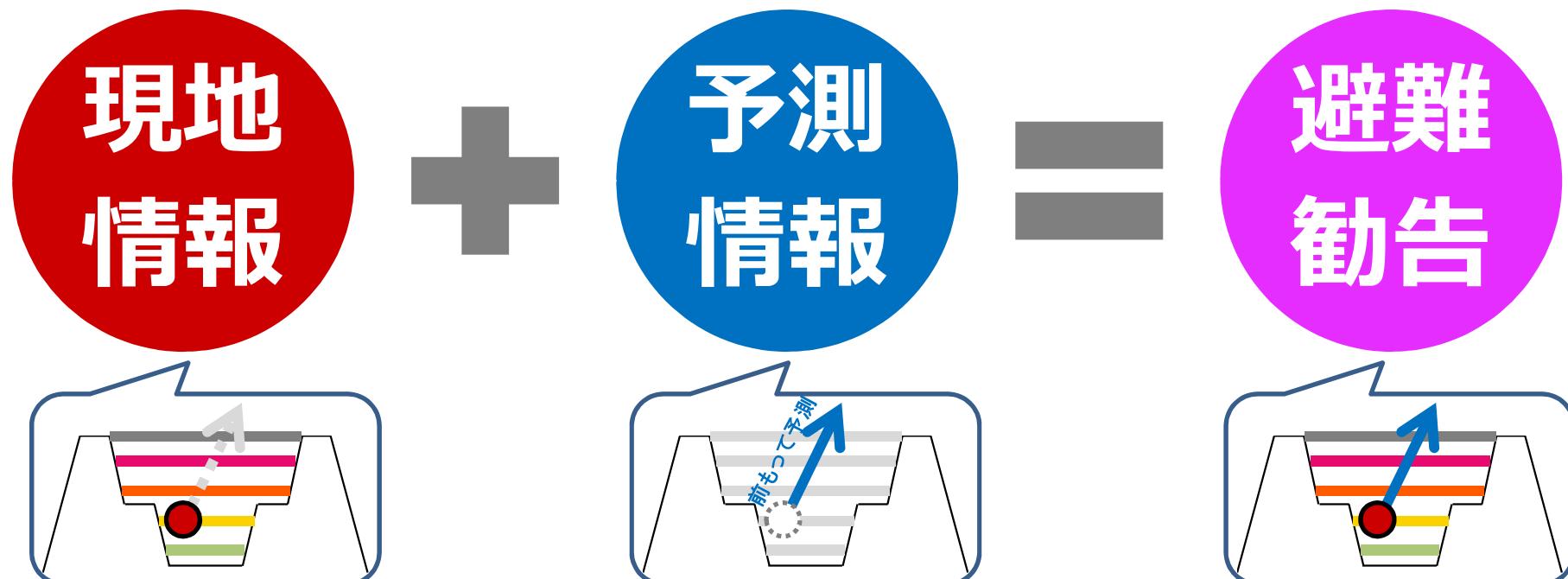


## ■和寒町周辺の洪水危険度分布（2019年8月9日01時～09時）



## ●まとめ

令和元年8月8日から9日にかけての大雨における、和寒町 マタルクシュケネブチ川および辺乙部川についての外水氾濫・内水氾濫の状況と、「洪水警報の危険度分布」を比較し、その精度を確認した。結果、ピンポイントに外水氾濫する箇所を適中させることはできなかったが、和寒町のどの辺り、どの時間帯で洪水危険度が高まるかをおおよそ表現できていた。また、本事例ではうす紫とならなくとも外水氾濫となつたことから、予測情報だけでは十分な防災対応が取りにくく、現地情報と合わせての利用が効果的と考える。



極めて危険を示す「濃い紫」が出現してからではすでに氾濫による冠水等で避難が困難なおそれも。このため、水位上昇の予測を示す「薄紫」が出現した時点で河川の現況を確認のうえ速やかに避難開始の判断を。

# 水害リスクに関する情報について

旭川開発建設部  
治水課



# 1. 水防リスクを知る

はじめに…

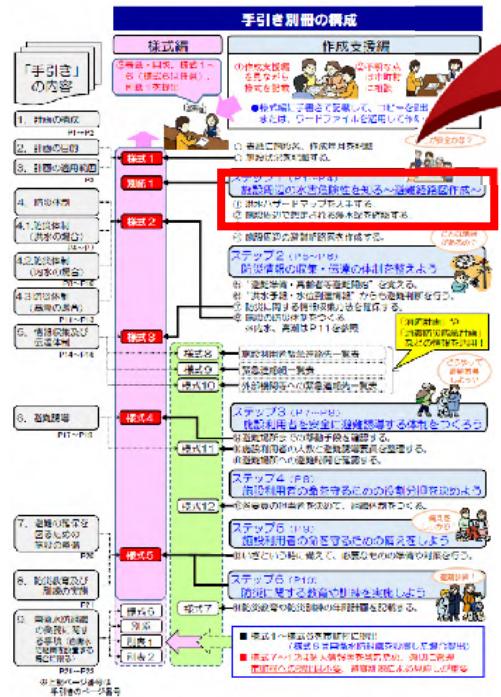
水害時の避難など防災行動を考えるための第一歩は、施設及び施設周辺の水害リスク(危険性)を知ることです。

※ 国土交通省ホームページ掲載 避難確保計画作成の手引き別冊より

要配慮者利用施設における  
避難確保計画作成の手引き別冊  
(作成支援編・様式編)



平成26年台風第10号による被害状況



## ステップ1 (P1~P4) 施設周辺の水害危険性を知る～避難経路図作成～

- ① 洪水ハザードマップ入手する。
- ② 施設周辺で想定される浸水深を確認する。
- ③ 安全な避難場所を設定する。
- ④ 施設周辺の避難経路図を作成する。



● 水害リスクを知るために国や自治体が  
提供している情報を説明します。 52

## 2. 洪水浸水想定区域の指定・公表

- 集中豪雨等による水害が頻発により、短時間で河川が増水したり、堤防が決壊して甚大な被害が発生する事例も増え、平成27年5月に水防法の一部が改正され、**想定される最大規模の降雨を前提とした洪水浸水想定区域を河川管理者が指定・公表することとなりました。**

### 課題

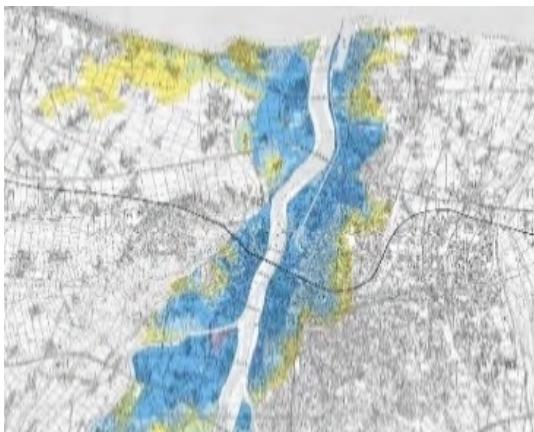
近年、現在の想定を超える浸水被害が多発



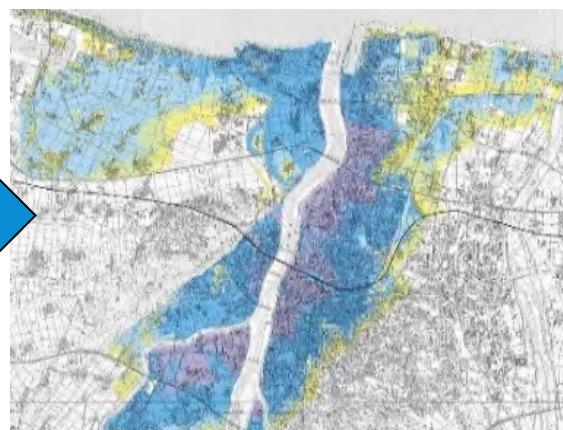
平成26年8月 避難所2階の浸水  
(徳島県)

### 改正の概要

洪水に係る浸水想定区域について、**想定し得る最大規模の洪水**に係る区域に拡充（現行は、河川整備において基本となる降雨を前提とした区域）



河川整備において基本となる降雨を前提  
(100～200年確率)



想定し得る最大規模の洪水に係る浸水想定区域  
(概ね1000年以上の確率)

### 3. 水害リスクの把握

- 水害リスクの把握では、施設が「**洪水浸水想定区域**」の中にあるか確認し、想定される浸水深等を参考にしつつ、「**洪水ハザードマップ**」の情報に従い、施設毎に避難計画を作成する必要があります。

#### 河川の種類

洪水予報河川  
(国、都道府県)  
419河川

水位周知河川  
(国、都道府県)  
1,572河川

その他の河川

#### 公表されている資料

洪水浸水想定区域  
(国、都道府県)

家屋倒壊等氾濫想  
定区域(国)

- (記載内容)
- ・浸水想定区域
  - ・想定される水深
  - ・浸水継続時間
  - ・家屋倒壊等氾濫想定区域

洪水浸水想定区域  
が含まれる市町村に  
おいて作成、公表

洪水ハザード  
マップ(市町村)

- (記載内容)
- ・洪水予報等の伝達方法
  - ・避難場所
  - ・地下街、要配慮者利用施  
設等の名称と所在地
  - ・早期の立退き避難が必要  
な区域(H28.4より追加)



### 3. 水害リスクの把握 ①洪水浸水想定区域とは？

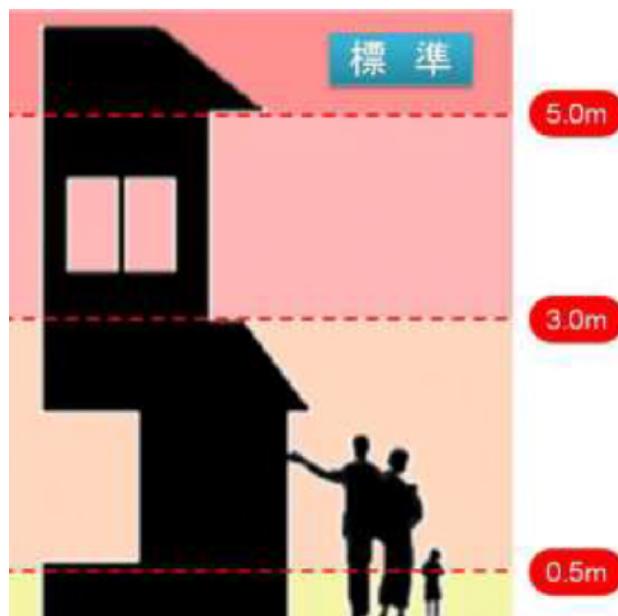
- 洪水浸水想定区域は、対象とする河川が想定最大規模降雨によって氾濫した場合に、その氾濫した水により浸水することが想定される区域です。



浸水想定区域図は、国または都道府県が作成し、

- 浸水想定区域
- 想定される水深
- 浸水継続時間
- 家屋倒壊等氾濫想定区域

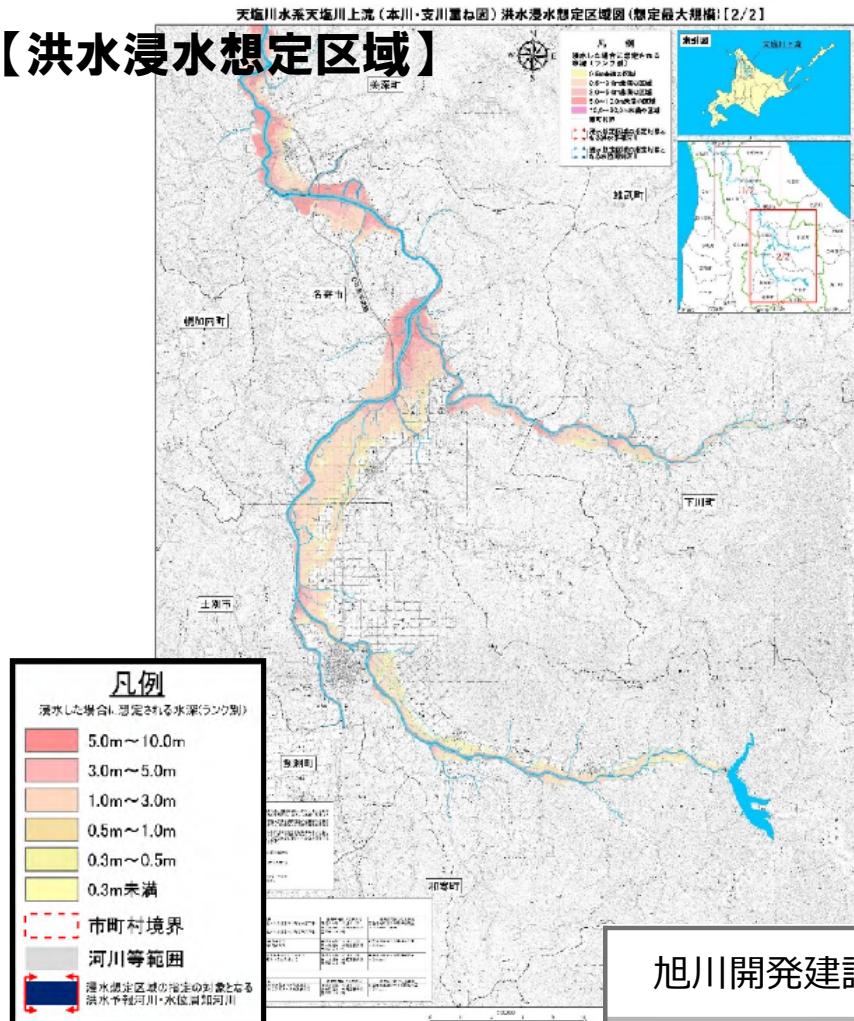
上記4つについて公表



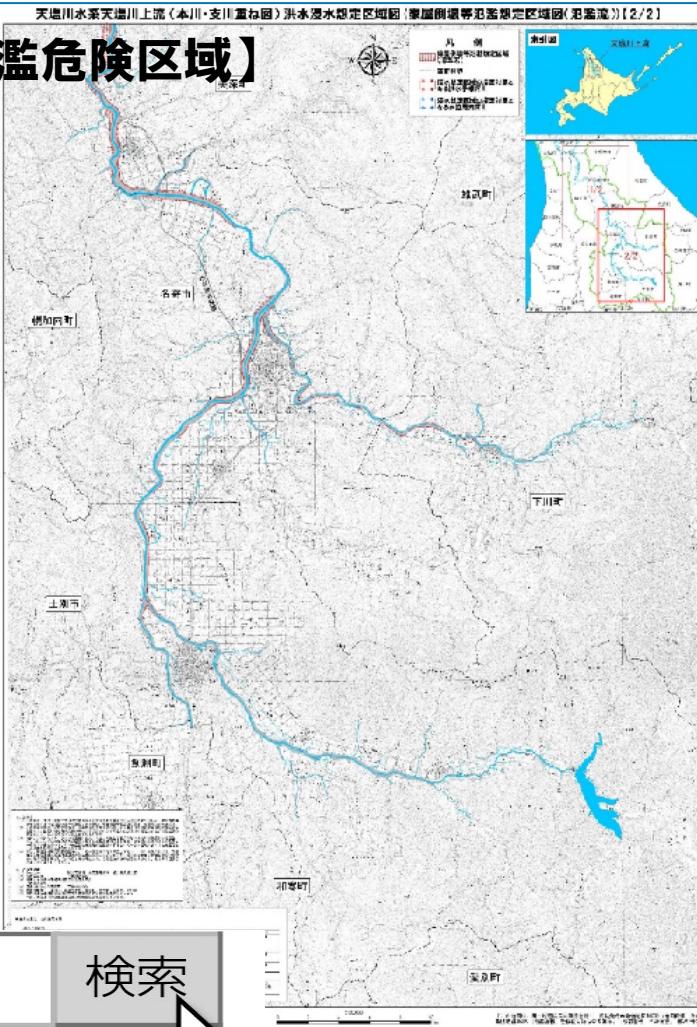
## 4. 水害リスクの把握 ①洪水浸水想定区域とは？

●名寄市内を流れる河川では、**一級河川天塩川水系天塩川、名寄川、風連別川（国土交通大臣管理）、二級河川豊栄川の（北海道知事管理）**において、洪水浸水想定区域図を公表しています。

【洪水浸水想定区域】



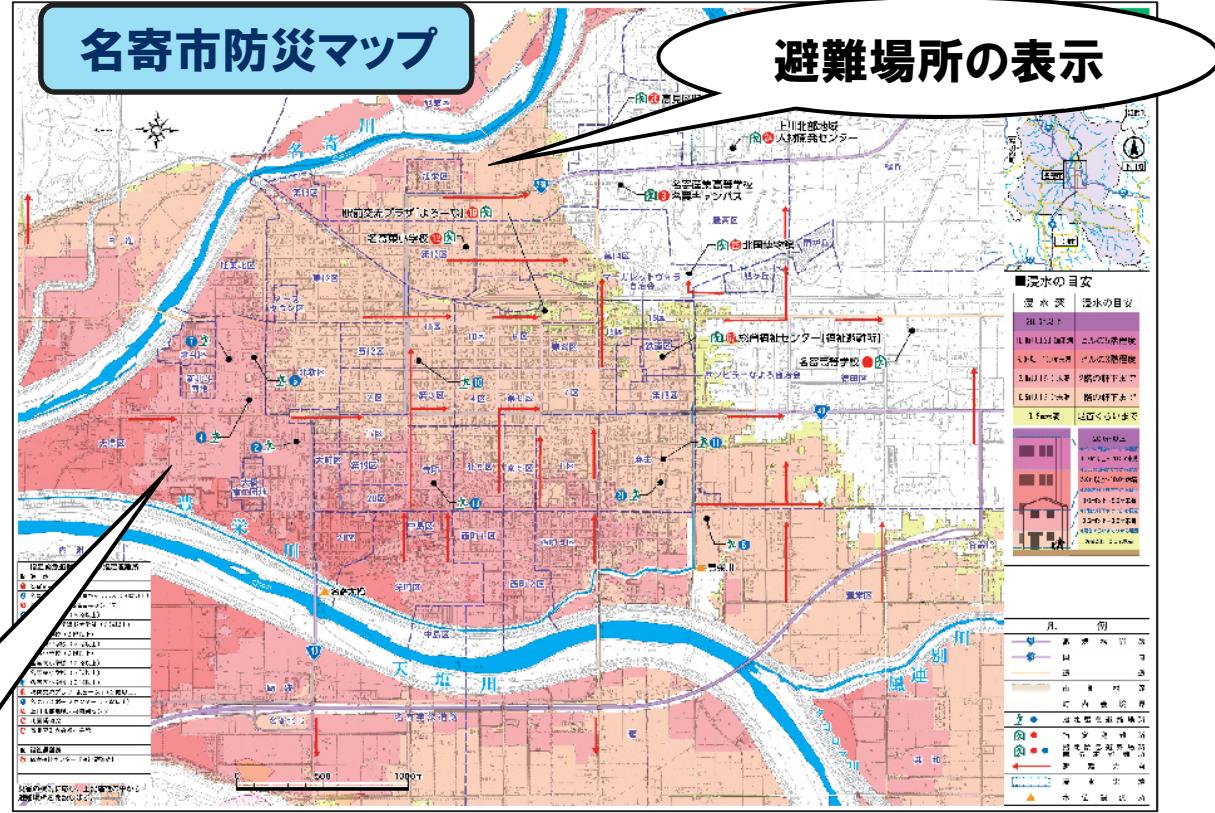
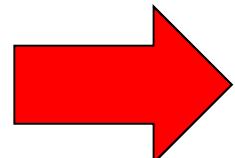
【家屋倒壊等氾濫危険区域】



※名寄市の防災マップ(洪水・土砂災害)は、**想定最大規模の降雨による浸水想定について、天塩川・名寄川（国土交通大臣管理）、豊栄川（北海道知事管理）**を反映している。

## 4. 水害リスクの把握 ②洪水ハザードマップとは？

- 洪水ハザードマップは、洪水浸水想定区域図をもとに、市の地域防災計画において定められた必要な事項や早期に立退き避難が必要な区域等を記載したものです。



浸水深の表示

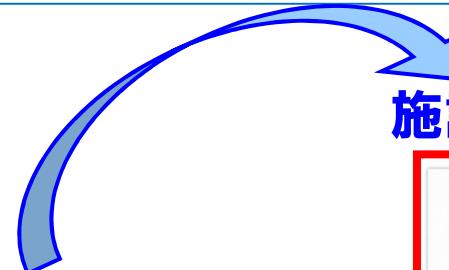
洪水ハザードマップは、**市町村が作成し**、①洪水予報の伝達方法、②避難場所、③要配慮者利用施設、大規模工場等の名称と所在地、④早期立退き避難が必要な区域(H28.4より追記)等について記載し公表。

## 4. 水害リスクの把握 ③重ねるハザードマップ

- 国土交通省の「ハザードマップポータルサイト」では、洪水時に想定される**浸水深**や**土砂災害**リスクの分布状況をまとめて確認することができます。

**重ねるハザードマップ**

検索



施設の住所を入力(地図から探すこともできます)

**ポータルサイトの「重ねるハザードマップ」**

新着情報 2019年1月7日 重ねるハザードマップの道路防災情報から車両通行が発生する前に予防的な通行止めを行い、集中的・効率的に除雪作業を実施する区間（予防的通行規制区間）が確認できるようになりました

**重ねるハザードマップ**  
～災害リスク情報を地図に重ねて表示～

洪水・土砂災害・津波のリスク情報、道路防災情報、土地の特徴などを地図や写真に自由に重ねて表示できます。

**場所を入力**

例: 茨城県つくば市北郷1／国土地理院

**表示する情報を選ぶ**

-  洪水 (想定最大規模)  
洪水 (計画規模) はこちら
-  土砂災害
-  津波
-  道路防災情報

※掲載データに関する留意事項



**重ねるハザードマップ**  
～災害リスク情報を地図に重ねて表示～

洪水・土砂災害・津波のリスク情報、道路防災情報、土地の特徴などを地図や写真に自由に重ねて表示できます。

**①住所を入力(例:市役所)**

場所を入力

○○○○○○

**②検索**

※地名検索は大字までの対応です

**表示する情報**

-  洪水(想定最大規模)  
洪水 (計画規模) はこちら
-  土砂災害
-  津波
-  道路防災情報

※掲載データに関する留意事項

## 4. 水害リスクの把握 ④水害時の避難開始基準の目安

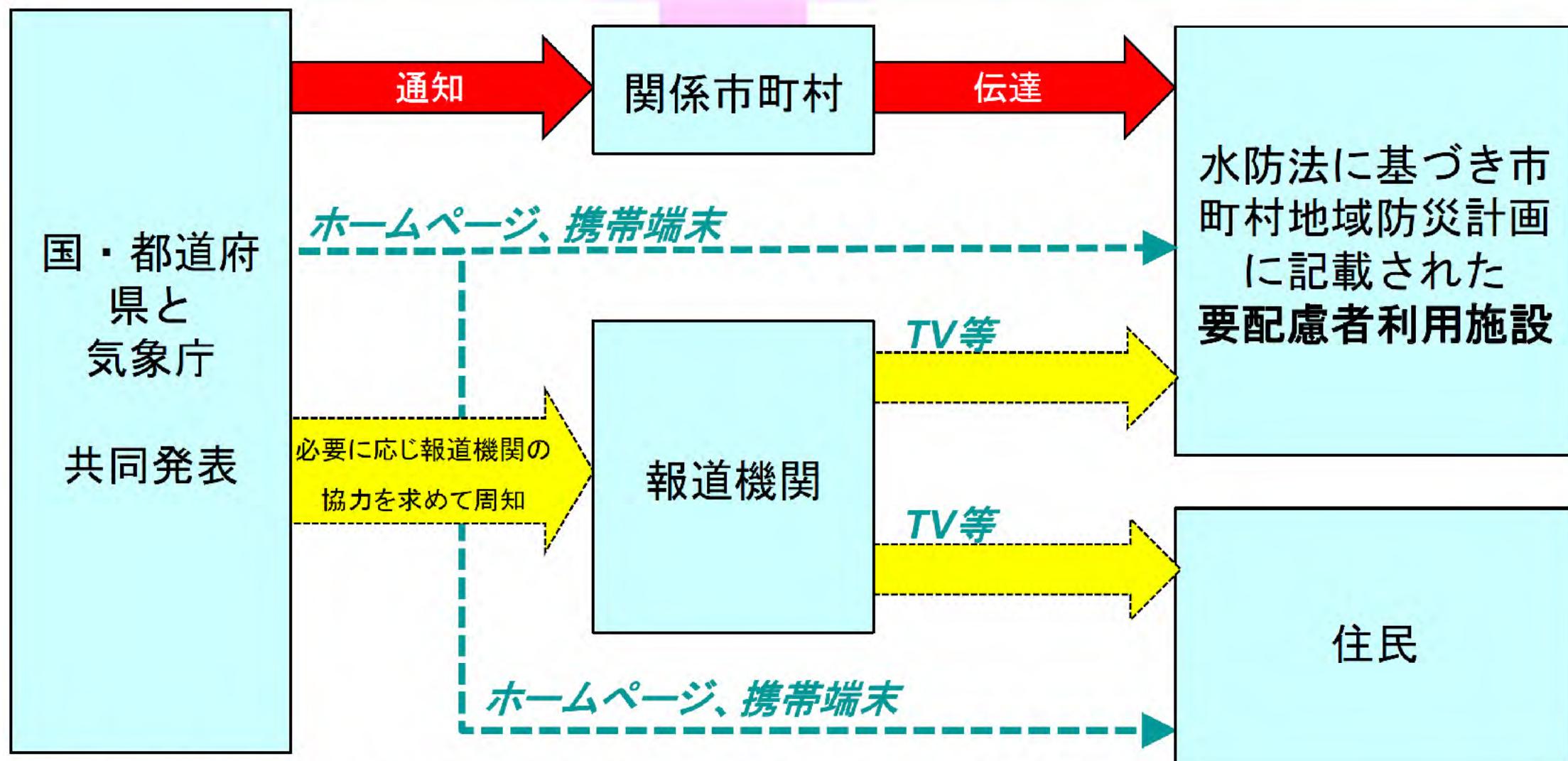
- 主要な河川では、水位観測所を設けて、リアルタイム水位を公表しています。
- 水位観測所では、災害発生の危険度に応じた基準水位が設定されています。

(基準となる水位観測所)

レベル	水位	水位の意味
5	氾濫の発生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市町村長の「<u>避難勧告</u>」「<u>避難指示(緊急)</u>」等の発令判断の目安</li> <li>・住民の避難判断の参考になる水位</li> </ul>
4 (危険)	氾濫危険水位 (特別警戒水位)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市町村長の「<u>避難準備・高齢者等避難開始</u>」等の発令判断の目安</li> <li>・<u>災害時要配慮者の早期避難誘導</u></li> <li>・住民の氾濫に関する情報への注意喚起</li> </ul>
3 (警戒)	避難判断水位	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水防団の出動の目安</li> </ul>
2 (注意)	氾濫注意水位 (警戒水位)	<ul style="list-style-type: none"> <li>※( )書きは水位周知河川の場合</li> </ul>
1	水防団待機水位	

## 4. 水害リスクの把握 ⑤洪水予報の伝達方法

避難準備・高齢者等避難開始、避難勧告、避難指示(緊急)の発令



※ 国と気象庁の共同発表の場合には、都道府県を介して関係市町村へ通知

# 5. 避難に必要な情報の入手方法 ①川の防災情報(1)

## 「国土交通省 川の防災情報」“気象”×”水害・土砂災害”情報マルチモニタ

- これまで、情報発信者がそれぞれ提供していた情報を一目で確認できるよう、「ポータルサイト」において、「気象情報」、「水害・土砂災害情報」等を一元的に集約して提供しています。

国土交通省 川の防災情報  
"気象"×"水害・土砂災害"情報マルチモニタ

全国 北海道 東北 関東 北陸 中部 近畿 中国 四国 九州 沖縄

雨の降っている地域 (RAIN) 14:30

気象警報・注意報【北西部】 14:30

気象警報・注意報【東部】 14:30

気象警報・注意報【南西部】 14:31

関連サイト

- 国土交通省 川の防災情報 全国概況
- 国土交通省 川の防災情報 スマホ版
- 国土交通省 川の防災情報 English TRIAL VERSION

リンク集

- 雨雲の動き (高解像度降水ナウキャスト)
- ハザードマップ ポータルサイト
- 土砂災害警戒情報
- 地点別浸水シミュレーション検索システム (浸水ナビ)
- 交通規制・道路気象
- 統合災害情報システム (DiMAPS)
- 防災情報提供センター
- 防災ポータル

河川カメラ (→地域のカメラへ)

川の水位情報 14:30

浸水の危険性が高まっている河川 14:30

洪水予報の発表地域 14:30

洪水貯留操作を実施しているダムがある地域 14:30

洪水警報の危険度分布 14:30

土砂災害危険度分布 14:30

リスクライン

準備中

## 5. 避難に必要な情報の入手方法 ②川の防災情報(2)

### 「国土交通省 川の防災情報」 川の水位情報

●洪水時の水位観測に特化した低コストな危機管理型水位計により、水位観測網の充実を図っています。堤防高さや川幅などから、相対的に氾濫が発生しやすい箇所を基本とし、現地状況等を踏まえて、配置箇所を選定しています。



ここをクリック



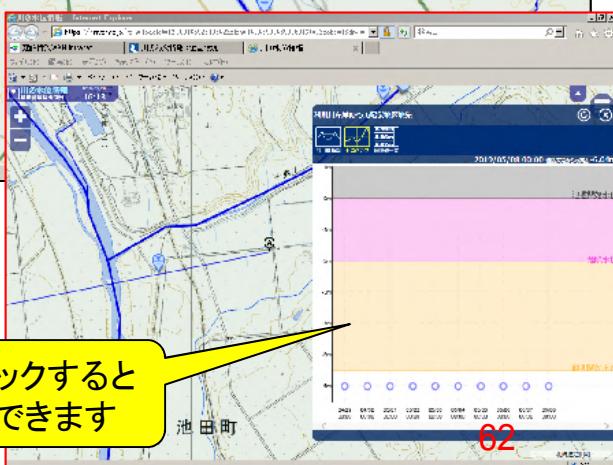
川の防災情報  
からアクセスできます



基準観測所近傍の河川カメラで  
河川の状況を確認できます



横断図でも  
水位を確認可能



水位計をクリックすると  
水位を確認できます

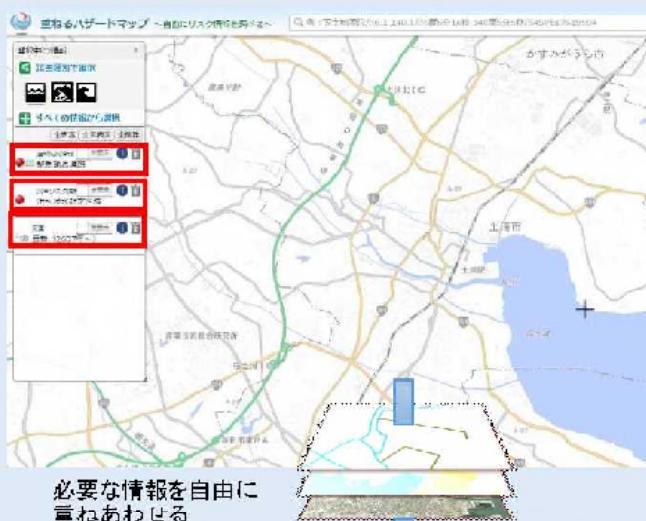
図面をスクロールして  
近くの水位計を表示

# 5. 避難に必要な情報の入手方法 ③「重ねる・わがまちハザードマップ」

●重ねるハザードマップでは、洪水浸水想定区域や道路情報、危険箇所などを地図や写真に重ねて閲覧することができます。

## 重ねるハザードマップ

防災に役立つ様々な情報を自由に重ねて表示できます



必要な情報を自由に重ねあわせる



防災に役立つ情報を一元的に閲覧できます

## 閲覧できる情報

### 洪水浸水想定区域

河川氾濫により浸水が想定される区域と浸水深が全国シームレスに閲覧可能。



### 緊急輸送道路

災害直後から、救難・救助・物資供給等の応急活動のために、緊急車両の通行を確保すべき重要な道路。



### 道路冠水想定箇所

アンダーパスなど、大雨の際に冠水し、車両が水没するなどの重大な事故が起きる可能性がある箇所。



### 事前通行規制区间

人雨などで土砂崩れや落石の恐れのある箇所について、規制の基準を定めて、災害が発生する前に通行止めなどの規制を実施する区間。



### その他に閲覧できる情報

- ・津波浸水想定
- ・土砂災害危険箇所
- ・土砂災害警戒区域等
- ・過去から現在までの空中写真
- ・土地条件図
- ・沿岸海域土地条件図
- ・治水地形分類図
- ・明治期の低湿地
- ・都市圈活断層図
- ・火山基本図
- ・火山土地条件図
- ・色別標高図
- ・自由な色別標高図
- ・大規模盛土造成地

## 国土交通省ハザードマップポータルサイト

全国の防災に役立つ情報を閲覧できます

URL:<http://disaportal.gsi.go.jp/>

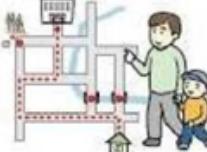


ハザードマップ 検索

### 国土交通省ハザードマップポータルサイトの活用例

#### 住民

- ・避難ルート、避難方法の検討
- ・自宅付近の災害リスク確認
- ・浸水対策の検討
- ・地震対策の検討



#### 行政

- ・防災計画、避難計画等の策定
- ・周辺市町村の災害リスクの確認
- ・公共施設の立地検討、安全度評価
- ・住民への注意喚起



# 5. 避難に必要な情報の入手方法 ③「重ねる・わがまちハザードマップ」

- わがまちハザードマップでは、各市町村が作成した地域のハザードマップを閲覧することができます。これらを活用して身のまわりの災害リスクを調べることができます。

The diagram illustrates the workflow for accessing local hazard maps:

- Top Left: 'わがまちハザードマップ' (My Town Hazard Map) Portal**
  - Search bar: 全国各市町村のハザードマップを検索できます
  - Buttons: わざわざ見る, 災害種別から選択する, 地図から選択する
  - Map: 日本地図 with a red circle highlighting the 'OO市' area.
- Top Right: '国土交通省ハザードマップポータルサイト' (National Disaster Prevention Hazard Map Portal Site)**
  - Logo: 國土交通省
  - Text: 全国の防災に役立つ情報を閲覧できます
  - URL: URL:<http://disaportal.gsi.go.jp/>
  - Buttons: ハザードマップ, 検索 (with a cursor icon pointing to it)
  - QR code
- Middle Left: 'OO市' Hazard Map Selection**
  - List: 以下は該当する地図  
- 洪水ハザードマップ  
- 土砂災害ハザードマップ  
- 地震ハザードマップ  
- 高速道路ハザードマップ  
- 防風林ハザードマップ  
- 防風林・海岸ハザードマップ  
- 地盤調査ハザードマップ  
- 地盤調査・海岸ハザードマップ  
- 地盤調査・海岸・海岸侵食ハザードマップ  
- 地盤調査・海岸・海岸侵食・海岸侵食ハザードマップ
  - Callout: 青色で表示されている市町村はインターネットでハザードマップを公開しています
- Middle Right: 'OO県××市' Hazard Map Information**
  - Text: OO県××市 津波ハザードマップ  
- インターネットで公開している(公開), JRを用いています
- Bottom Left: 'OO県××市' Hazard Map Page**
  - Text: 洪水ハザードマップをインターネットで公開している(公開), JRを用いています
  - Text: 内陸ハザードマップをインターネットで公開している(公開), JRを用いています
  - Text: 防風林ハザードマップをインターネットで公開している(公開), JRを用いています
  - Text: 地盤調査ハザードマップをインターネットで公開している(公開), JRを用いています
  - Text: 土砂災害ハザードマップをインターネットで公開している(公開), JRを用いています
  - Text: 大火山ハザードマップをインターネットで公開している(公開), JRを用いています
- Bottom Right: '各市町村のページ' (Local City/Town Page)**
  - Text: 各市町村のページ
  - Text: 各市町村のハザードマップ公開ページに移動しハザードマップを閲覧できます
  - Image: A map of '高知県高知市' with various hazard zones color-coded.

## 5. 避難に必要な情報の入手方法

④「地点別浸水シミュレーション検索システム」  
(浸水ナビ)

国土交通省  
北海道開発局  
旭川開発建設部

●「浸水ナビ」では、自分の住んでいる地域にどのような浸水被害が想定されるか調べることができます。

国土交通省 地点別浸水シミュレーション検索システム(浸水ナビ)

「地点別浸水シミュレーション検索システム」

洪水時の被害を最小限にするためには、住民のみなさん一人一人や企業などが平常時から水害による被害のリスクを認識したうえで、氾濫時の危険箇所についての情報を知っていただくことが何より重要です。

地点別浸水シミュレーション検索システム（浸水ナビ）からわかること

想定破堤点を知る  
どの河川のどの地点が決壊(破堤)したら、自宅や会社などが浸水するのかが分かります。

浸水想定を知る  
堤防決壊(破堤)後どこが・いつ・どのくらい浸水するか、の変化をアニメーションやグラフで見られます。

河川の水位情報を知る  
大雨の際に、どこの水位観測所の情報を見ておけば良いのかがわかります。また、現在の水位がわかるホームページへのリンクしています。



洪水時の被害を最小限にするためには、住民のみなさん一人一人や企業などが平常時から水害による被害のリスクを認識したうえで、氾濫時の危険箇所についての情報を知っていただくことが何より重要です。

### 地点別浸水シミュレーション検索システム（浸水ナビ）からわかること

想定破堤点を知る  
どの河川のどの地点が決壊(破堤)したら、自宅や会社などが浸水するのかが分かります。

浸水想定を知る  
堤防決壊(破堤)後どこが・いつ・どのくらい浸水するか、の変化をアニメーションやグラフで見られます。

河川の水位情報を知る  
大雨の際に、どこの水位観測所の情報を見ておけば良いのかがわかります。また、現在の水位がわかるホームページへのリンクしています。

地点別浸水シミュレーション検索システム(浸水ナビ)

想定破堤点を知る  
どの河川のどの地点が決壊(破堤)したら、自宅や会社などが浸水するのかが分かります。

浸水想定を知る  
堤防決壊(破堤)後どこが・いつ・どのくらい浸水するか、の変化をアニメーションやグラフで見られます。

河川の水位情報を知る  
大雨の際に、どこの水位観測所の情報を見ておけば良いのかがわかります。また、現在の水位がわかるホームページへのリンクしています。

自分の住んでいる地域にどのような浸水被害が想定されるのかについて、事前に認識を深めていただき、水防活動や避難行動等に活用していただきたいと考えています。

浸水ナビ

検索

<http://suiboumap.gsi.go.jp/>

## 5. 避難に必要な情報の入手方法 ⑤水害リスクライン

● 観測所地点の水位から上下流連続的な水位をリアルタイムで計算し、堤防の高さと比較することで危険度を表示する「水害リスクライン」により、災害の切迫感をわかりやすく伝える取組を推進しています。

### 水害リスクラインを活用した洪水予報・危険度の表示

左右岸別、上下流連続的に地先ごとの危険度を表示

水害リスクラインの表示イメージ(山国川の例)

【平常時】



【平成30年7月豪雨時（再現）】



浸水想定区域図の重ね合わせ



2018/7/6 20:00

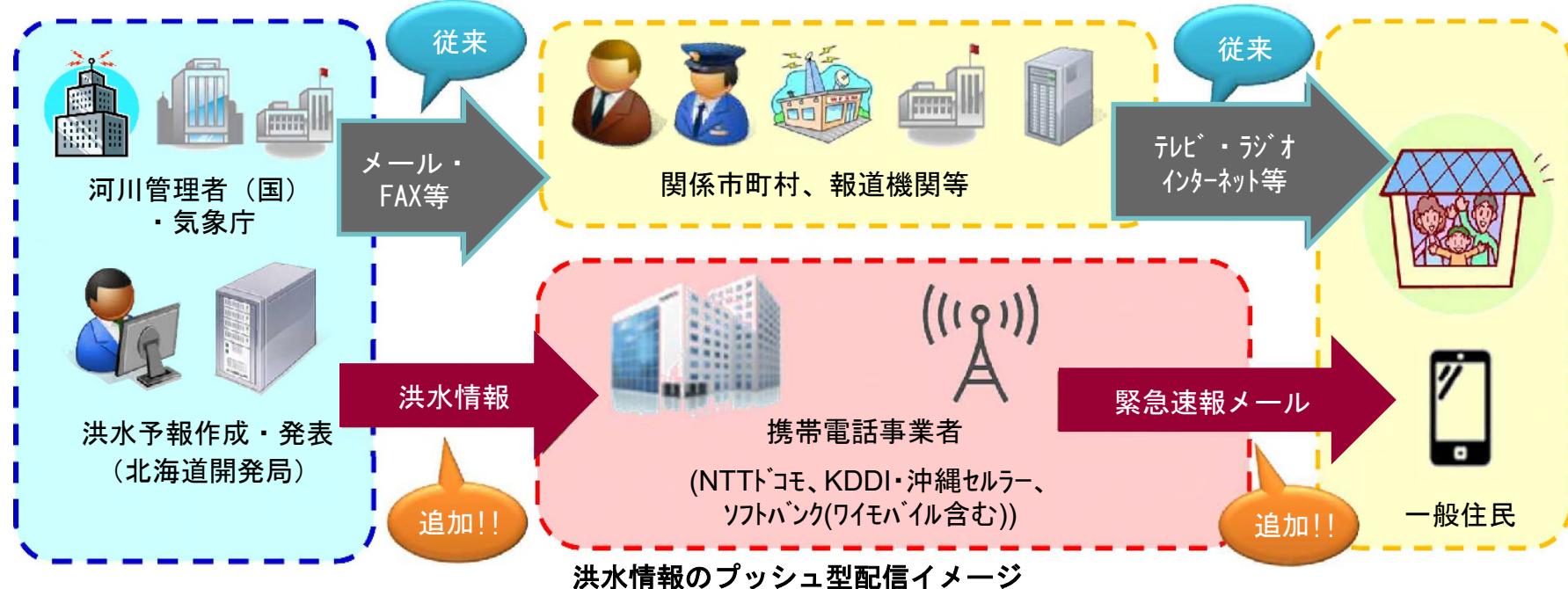
CCTVカメラ画像の表示



カメラ画像イメージ  
(ポップアップ)

## 5. 避難に必要な情報の入手方法 ⑥洪水情報の配信

- 北海道開発局旭川開発建設部では、石狩川（上流）水系、天塩川（上流）水系の関係14市町村に、洪水情報の配信を実施しています。
- 洪水情報とは、河川の水位が、避難勧告等の発令基準となる「氾濫危険水位」を超えた場合や堤防決壊等により氾濫が発生した場合に配信する情報のことです。
- 携帯電話事業者が提供する「緊急速報メール」のサービスを活用して周知するものですので洪水情報を受信した場合には、ただちに適切な防災行動（避難など）をとってください。



このメール配信は、国土交通省が発信元となり、携帯電話事業者が提供する「緊急速報メール」のサービスを活用して洪水情報を携帯電話ユーザーへ周知するものであり、水害時に流域住民の主体的な避難を促進する取組みとして国土交通省が実施するものです。

## 5. 避難に必要な情報の入手方法

### ⑦高齢者避難支援「にげなきゃコール」

- 「逃げなきゃコール」とは、スマートフォンアプリなどの地域登録機能を活用し、プッシュ型で家族の住む場所の河川情報等を入手し、離れた場所に暮らす高齢者等の家族に直接電話をかけて避難行動を呼びかける取組です。



# 逃げなきゃコール



## 5. 避難に必要な情報の入手方法 ⑧マイタイムライン

●マイタイムラインとは、自分自身がとる防災行動を時系列的に整理し、とりまとめるもので、行動のチェックリストとして、また判断のサポートツールとして活用されることで、一人一人が「逃げ遅れゼロ」に向けた効果が期待されるものです。



### マイ・タイムラインってなあに？

マイ・タイムラインは、河川の氾濫が起きそうな時に、余裕をもって逃げるために事前に考えておく、ひとりひとりの生活に合ったオリジナルの避難行動計画です。

事前に考えて作っておくと、いざという時に慌てずに行動することができるので、逃げ遅れを防ぐ効果が期待されます。

●氾濫の発生

- 氾濫危険水位
- 氾濫開始水位
- 氾濫警戒水位
- 氾濫注意水位
- 氾濫警戒開始水位
- 小防護堤待機水位
- 大防護堤待機水位

● 越流が確認する大河川等の河川の内河水位と、インフラ施設等の水位との比較

● 地域防護堤等のタイミングによる内河水位に合わせて、市町内のタイムラインを確認して下さい。

3日前

洪水時に使われる情報

マイ・タイムラインでの行動

マイ・タイムライン検討ツール  
**逃げキッド**

「逃げキッド」は、マイ・タイムラインを作るお手伝いをするための入門的なツールです。このキッドは、3つのステップで構成されており、それぞれに「知る」「覚える」「考える」の要素をとり入れ、理解しやすくまとめてあります。川が氾濫するまでの流れを理解し、発信される情報の種類や入手方法、使い方を知ることで、どのタイミングでどのような準備をしておくかを考え、整理することができます。

逃げキッド

逃げキッドのダウンロードはこちらから  
<http://www.river.or.jp/JpJoy/my-timeline/download.html>

### 「逃げキッド」利活用事例

関東・東北豪雨を契機として、東淀川流域で始まった、「みんなでマイ・タイムラインプロジェクト」。今、逃げキッドを活用して、全国へと広がっています。

町内会などの住民防災講習会で

高知県美波町  
茨城県結城市

自治体の住民向け防災イベントで

東京都大田区  
栃木県宇都宮市

地域や自治体の防災研修で

茨城県つくば市  
埼玉県深谷市

学校の防災教育の場で

茨城県常総市

作成者の声

- 周東・東北豪雨の時に  
マイ・タイムラインがあったら良かった…
- みんなと話し合っておくことが大切と感じました
- 避難の準備やタイミングを考えることが出来た
- 良い合わせ方

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism  
国土交通省  
水管理・国土保全局 河川環境課 水防企画室  
〒100-8918 東京都千代田区霞が関 2-1-3 電話 03-5233-8111 (代表)  
(2018.3)

## 5. 避難に必要な入手情報一覧

情報サイト名	URL	掲載内容
川の防災情報	<u>スマホ版</u> <a href="http://www.river.go.jp/s/">http://www.river.go.jp/s/</a> <u>PC版</u> <a href="http://www.river.go.jp/">http://www.river.go.jp/</a>	「川の水位」や大雨などの「気象情報」、「水害・土砂災害情報」等を一元的に集約して提供しています。
ハザードマップ ポータルサイト	<a href="https://disaportal.gsi.go.jp/">https://disaportal.gsi.go.jp/</a>	「重ねるハザードマップ」や「わがまちハザードマップ」により、身の回りの災害リスクを調べることができます。
浸水ナビ	<a href="https://suiboumap.gsi.go.jp/">https://suiboumap.gsi.go.jp/</a>	「洪水浸水想定区域図」の情報により、自分の住んでいる地域にどのような浸水被害が想定されるか調べることができます。
水害リスクライン	<a href="https://frl.river.go.jp/">https://frl.river.go.jp/</a>	河川の水位と堤防高さの比較により、左右岸別に上流から下流まで連続的に洪水の危険度を表示するシステムです。
逃げなきやコール	<a href="http://www.mlit.go.jp/river/risp/policy/33nigecall.html">http://www.mlit.go.jp/river/risp/policy/33nigecall.html</a>	スマートフォンアプリなどの地域登録機能により、離れた場所に暮らす高齢者等の家族に直接電話をかけて避難行動を呼びかける取り組みです。
マイタイムライン	<a href="http://www.river.or.jp/jigyo/my-timeline_download.html">http://www.river.or.jp/jigyo/my-timeline_download.html</a>	自分自身の防災行動を時系列的にとりまとめるもので、行動のチェックリストや判断のサポートツールとして活用できます。 <sup>70</sup>

# 要配慮者利用施設の避難確保計画作成・訓練実施の促進



国土交通省

- 2021年度までに要配慮者利用施設の避難確保計画作成及び訓練実施を完了するため取組を加速させる必要
- 大規模氾濫減災協議会において、各市町村の2021年度までの進捗目標、進捗の現状及び促進施策を共有



## 「大規模氾濫減災協議会」の運用について(平成29年6月19日)【抜粋】

### 7. 協議会での取組事項

- (1)①ー1力 要配慮者利用施設等における避難確保計画の作成・訓練に対する支援
  - ・洪水浸水想定区域内における要配慮者利用施設及び地下街等の立地状況を確認するとともに、市町村地域防災計画に定められた要配慮者利用施設の避難確保計画及び地下街等の避難確保浸水防止計画の作成状況、訓練の実施状況を確認する。
  - ・避難確保計画の作成状況や訓練の実施状況を踏まえ、それぞれの取組を促すための支援策について検討調整する。また、施設職員だけで対応することが難しい場合の地域の支援体制について検討・調整する。

### 目標

2021年度までに対象の要配慮者利用施設における避難確保計画の作成・避難訓練を実施

「水防災意識社会」の再構築に向けた緊急行動計画

図 進捗状況及び促進施策の報告様式



## 【天塩川上流】減災に関する取り組みの実施状況(名寄市主催、旭川開発建設部ほか共催)



### 要配慮者利用施設の「避難確保計画に関する講習会」を開催

- 平成29年6月に改正された水防法及び土砂災害防止法において、浸水想定区域や土砂災害警戒区域内における要配慮者利用施設の管理者等は避難確保計画の作成・避難訓練の実施が義務づけられたことを踏まえ、天塩川上流域2市5町1村（士別市、名寄市、和寒町、剣淵町、下川町、美深町、音威子府村、中川町）の施設管理者等を対象とした避難確保計画の作成方法等に関する講習会を名寄市の主催で開催した。
- 本講習会は、避難確保計画・避難訓練の必要性や作成ポイント、避難行動等を考える上で必要となる情報の活用方法などを知ることや、計画作成や訓練の必要性・重要性を理解することを目的に、減災対策協議会における取組の一環として実施。

#### 【講習会概要】

日時：令和2年1月28日（火）13:00～15:00  
場所：名寄市民文化センター 1階 多目的ホール  
主催：名寄市  
共催：北海道上川総合振興局  
北海道開発局旭川開発建設部  
旭川地方気象台  
参加人数：約100名（施設管理者等、関係機関含む）

#### 【講演及び情報提供内容】

- 要配慮者利用施設の避難確保計画作成及び避難訓練の必要性について（北見工業大学 高橋教授）
- 水害リスクに関する情報について（旭川開発建設部）
- 土砂災害防止法の取り組みについて（北海道）
- 避難行動への気象情報の活用（旭川地方気象台）
- 避難確保計画の作成方法について（名寄市）



北見工業大学 高橋教授による講演



名寄市 中村総務部長の挨拶



講習会の実施状況

#### ■ 参加者からの意見

- ・体制を見直す機会となったが、避難確保計画等の準備や周知、また1人1人の気持ちの準備も大切だと感じた。
- ・警戒レベルがいくつになったら逃げなくてはいけないのか、どこで情報収集するといいのか（スマホなど）知ることができた。
- ・改めて利用者1人ひとりの心身に応じた計画を再考しようと思う。